

平成23年度の予算と主な事業

平成 23 年度一般会計予算および特別会計予算が、3月定例議会において成立しました。

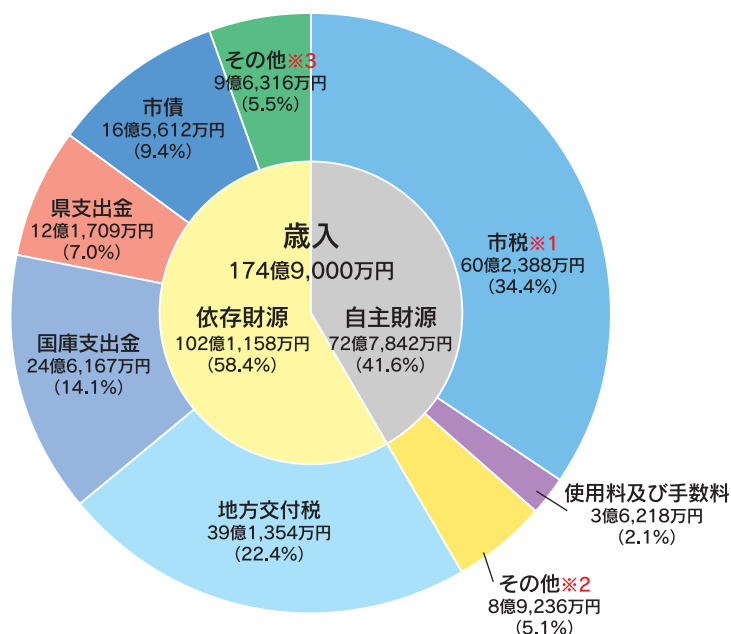
一般会計予算額は、174 億 9,000 万円で、前年度の予算額 165 億 2,800 万円より、5.8%の増となりました。また、特別会計予算額は、118 億 8,060 万円で、前年度の予算額 113 億 2,231 万 3 千円より、4.9%の増となりました。

スクールソーシャルワーカーの配置や本年度が最終年度となる小中学校の耐震補強事業など「生きる力を育む教育と地域文化づくり」のほか、地域商品券発行事業など「豊かな暮らしを支える活力ある産業づくり」に取り組むための予算を計上しています。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度(61 億 1,712 万円)から 1.5%の減となっており、地方交付税については、前年度(36 億 7,877 万円)から 6.4%の増となります。

また、市債は前年度(14 億 7,044 万円)から 12.6%増となりました。



※ 1 〈市税の内訳〉

- ・ 市民税……………28億7,187万円
個人……………26億4,870万円
法人……………2億2,317万円
- ・ 固定資産税……………26億1,090万円
- ・ 軽自動車税……………8,811万円
- ・ 市たばこ税……………4億5,300万円

※ 2 〈自主財源：その他の内訳〉

- ・ 分担金及び負担金……………2億9,975万円
- ・ 財産収入……………1,934万円
- ・ 寄附金……………70万円
- ・ 繰入金……………4,837万円
- ・ 繰越金……………2億9,200万円
- ・ 諸収入……………2億3,220万円

※ 3 〈依存財源：その他の内訳〉

- ・ 地方譲与税……………2億3,800万円
- ・ 利子割交付金……………3,500万円
- ・ 配当割交付金……………670万円
- ・ 株式等譲渡所得割交付金……………200万円
- ・ 地方消費税交付金……………4億5,000万円
- ・ ゴルフ場利用税交付金……………2,000万円
- ・ 自動車取得税交付金……………8,200万円
- ・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金……………700万円
- ・ 地方特例交付金……………1億1,046万円
- ・ 交通安全対策特別交付金……………1,200万円

◆市税

皆さんから市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税等)

◆使用料及び手数料

あすてらすや運動公園などの使用料および、住民票などの手数料

◆地方交付税

国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

◆市債 事業を行うために市が借入れるお金

◆自主財源 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金

◆依存財源 国・県などの意志により交付されるお金

◆特別会計 特定の歳入で特定の支出にあてて運営する会計

当初予算規模

◇一般会計	174億9,000万円(5.8%増)
◇特別会計	118億8,060万円(4.9%増)
(内 訳)	
・国民健康保険事業特別会計	58億9,721万2千円(1.1%増)
・後期高齢者医療特別会計	7億458万2千円(5.1%減)
・介護保険事業特別会計	
保険事業勘定	30億9,725万1千円(12.8%増)
介護サービス事業勘定	2,219万1千円(9.4%増)
・下水道事業特別会計	21億4,935万円(10.4%増)
・住宅新築資金等貸付事業特別会計	
	1,001万4千円(2.3%増)

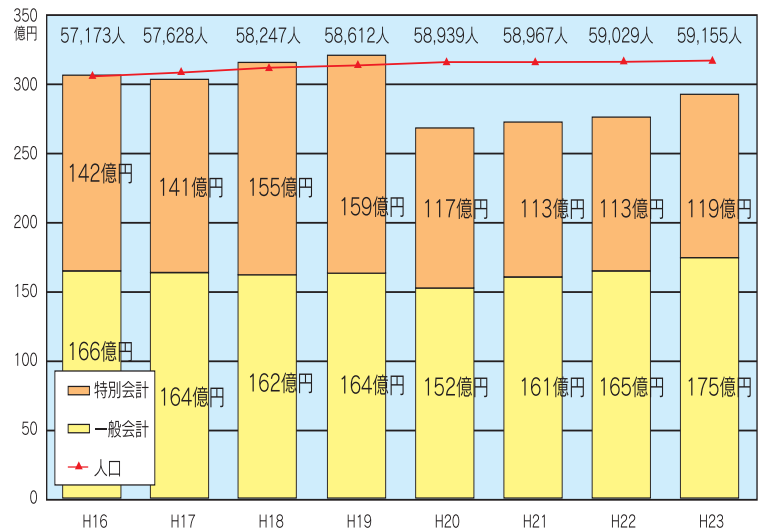
※老人保健事業特別会計は平成23年度より廃止

◆予算総額 293億7,060万円(5.5%増)

※()内は前年度比増減率

人口と予算の推移

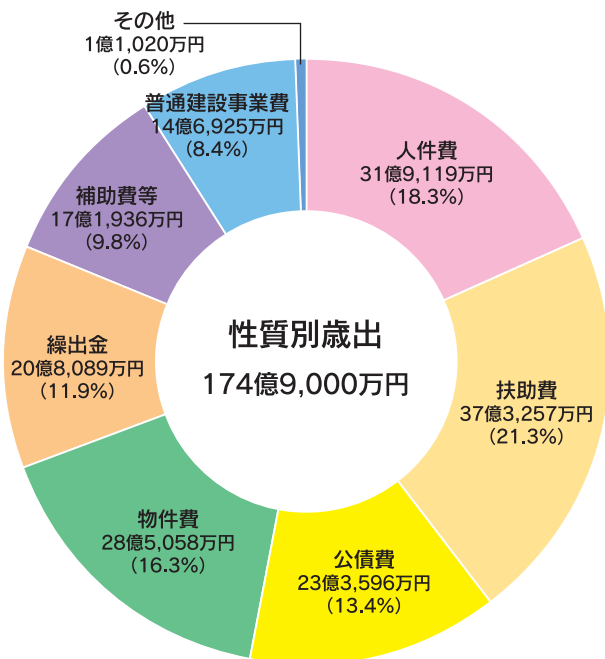
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後(肉付け後)予算を使用(人口:各年度4月1日現在、ただし平成23年度のみ3月1日現在)



一般会計・歳出

●性質別歳出

義務的経費（支出が義務付けられ任意に削減できない経費、「人件費」・「扶助費」・「公債費」の合計）が、53.0%と全体の半分以上を占めています。

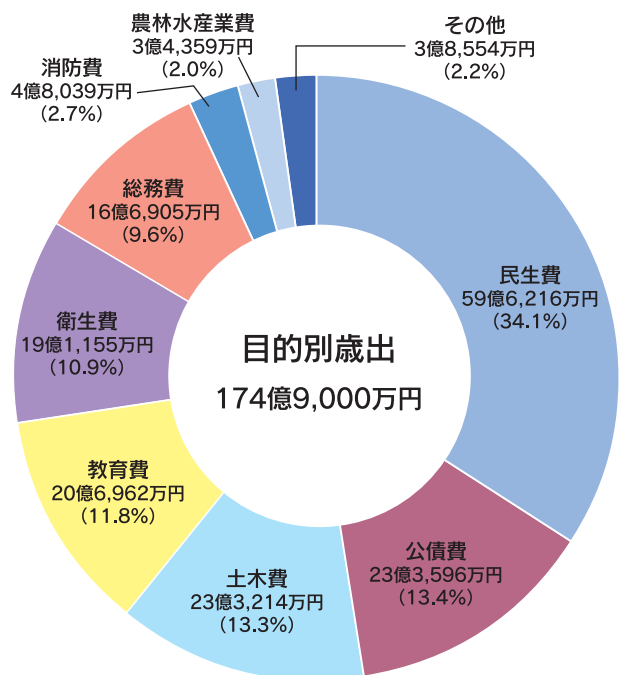


～ 性質別歳出 ～

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員および各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、子ども手当、医療費等に使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費等に使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁等の整備や公共施設の新設増改築等に使うお金

●目的別歳出

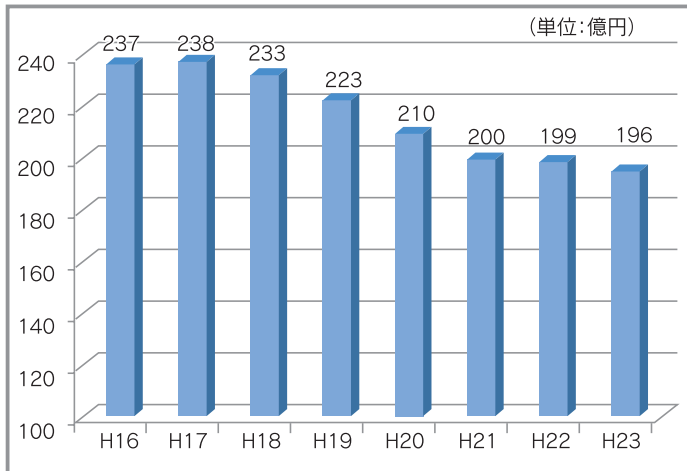
社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が3割以上を占めています。



～ 目的別歳出 ～

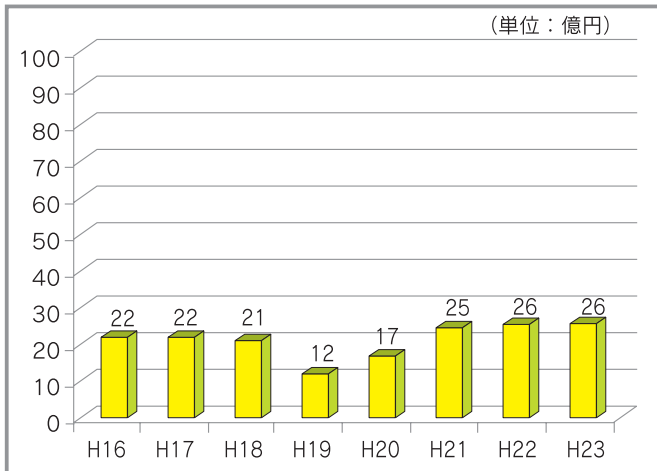
- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆公債費 借入れたお金を返済するためのお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川等の維持管理・改良等に使うお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ゴミ処理等に使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙等市の総括的な事務に使うお金

市債残高の推移(一般会計)



平成 17 年度が、238 億円と残高のピークでしたが、現在は毎年の発行額を抑えて残高を減らし、財政の健全化を図っています。

基金残高の推移(一般会計)



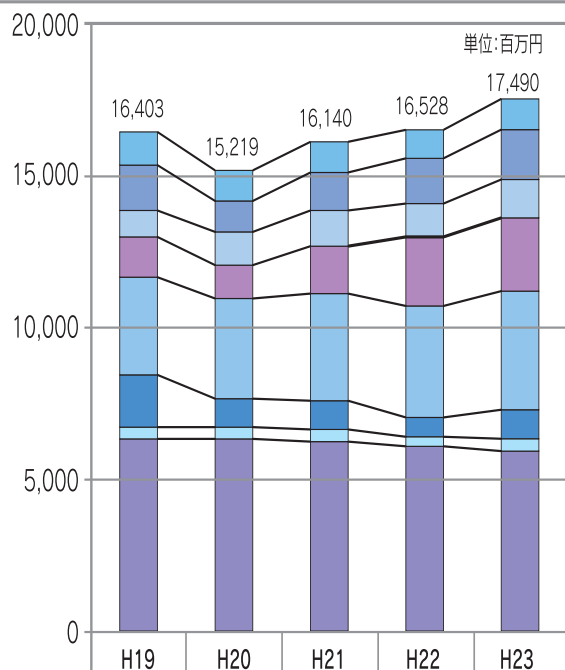
基金とは、市の貯金にあたるものです。平成 19 年度に 12 億円となりましたが、20 年度及び 21 年度に積み立てを行って現在は 26 億円となっています。

予算の推移(内訳)

歳入では地方交付税及び市債が増えています。歳出では医療費、子ども手当などにあたる扶助費と委託料などにあたる物件費が増えています。

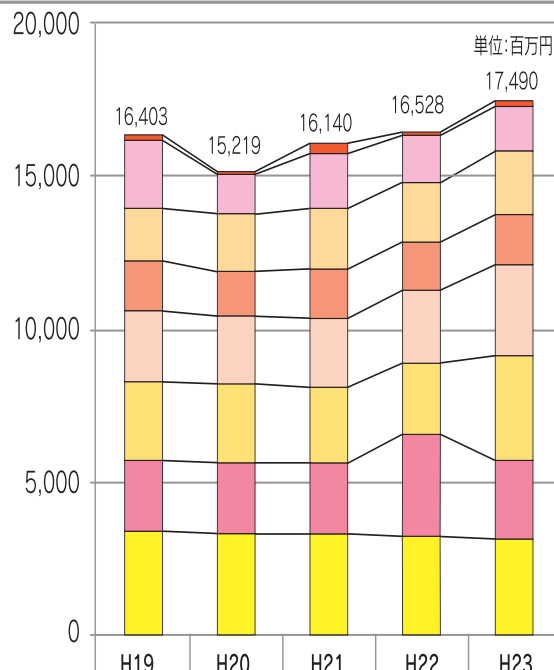
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は 6 月補正後(肉付け後)予算を使用

【歳入】



項目	H19	H20	H21	H22	H23
市税	6,360	6,363	6,315	6,117	6,024
使用料及び手数料	373	387	384	368	362
その他(自主財源)	1,767	974	951	582	892
地方交付税	3,175	3,255	3,483	3,679	3,914
国庫支出金	1,310	1,104	1,543	2,239	2,462
県支出金	870	1,106	1,188	1,135	1,217
市債	1,471	942	1,209	1,470	1,656
その他(依存財源)	1,077	1,088	1,067	938	963

【歳出】



項目	H19	H20	H21	H22	H23
人件費	3,385	3,323	3,294	3,261	3,191
扶助費	2,417	2,411	2,468	3,422	3,733
公債費	2,610	2,589	2,421	2,296	2,336
物件費	2,302	2,218	2,271	2,434	2,851
補助費等	1,596	1,395	1,619	1,502	1,719
繰出金	1,683	1,911	1,944	1,951	2,081
普通建設事業費	2,291	1,260	1,793	1,522	1,469
その他	119	112	330	140	110

主な事業について

都市機能・都市基盤づくり

道路・交通網

- ・ 下町・西福童 16 号線整備事業

消防・防災

- ・ 消防施設整備事業
(第 7 分団消防ポンプ自動車買換え)



▲地域商品券（将軍藤小判）

活力ある産業づくり

農業

- ・ 経営体育成支援 機械整備等支援事業

商業

- ・ 地域商品券発行事業
- ・ 企業誘致推進事業
(工業団地基本計画策定)



▲住宅用太陽光発電システム

居住環境づくり

環境

- ・ 住宅用太陽光発電システム設置補助金
- ・ 地球温暖化対策実行計画の策定

下水道

- ・ 公共下水道整備事業
(下岩田・二夕・古飯・上西地区)



▲下町・西福童 16 号線整備事業

健康と福祉づくり

福祉

- ・ 子ども手当支給事業

健康

- ・ 乳幼児医療費助成事業

人権・同和対策

- ・ 人権・同和対策推進事業



▲小学校・中学校の耐震化

教育と地域文化づくり

学校教育

- ・ 小学校 1 年生、2 年生 35 人学級体制整備事業 (1 クラス定員 40 人→35 人へ)
- ・ スクールソーシャルワーカーの配置
- ・ 小学校、中学校の耐震化
(大原小・三国小・宝城中・大原中・小郡中)

文化財

- ・ 歩道案内表示設置事業

地域自治体制づくり

行財政運営

- ・ 第 2 次行政改革行動計画の策定